

表Ⅲ-36 サービス提供職種とアウトカム指標の関連

	要介護度			基本チェックリスト			主観的健康観			開眼片足立ち時間			TUG			5m通常歩行時間			5m最大歩行時間			
	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	
医師			—				●		●													
理学療法士			○							○	○		○									
作業療法士																						
言語聴覚士						—			—				—						—			—
保健師	○		—										○									
看護師、准看護師	●																					
柔道整復師										○	○		○	○				—		○	○	
あんまマッサージ師			●						—													

○：統計学的に有意に成功確率が高いもの ●：統計学的に有意に成功確率が低いもの
 —：検討に必要な数を満たしていないもの

＜サービスの組み合わせ＞

サービスの組み合わせについては、マシンによる筋力増強と持久性訓練の組み合わせがもっとも高い改善効果を認め、特に身体機能で著明であった。また、マシンによらない筋力増強訓練も複数のアウトカム指標で有意に高い効果を認めた。一方、レクリエーション・ゲームのみ、あるいは日常生活動作に関する訓練とレクリエーション・ゲームの組み合わせでは、効果が低いことがわかった。

表Ⅲ-37 サービス内容の組み合わせとアウトカム指標との関連

	要介護度			基本チェックリスト			主観的健康観			開眼片足立ち時間			TUG			5m通常歩行時間			5m最大歩行時間			
	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	全数	特定	要支援	
マシンによる筋力増強のみ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
マシンによる筋力増強と持久性訓練							○	○								○	○					○
マシンによる筋力増強とレクリエーション								○														
マシンによらない筋力増強のみ								○														
マシンによらない筋力増強と日常生活動作の訓練								○		○	○											
マシンによらない筋力増強とレクリエーション								○						●								
マシンによらない筋力増強と日常生活動作とレクリエーション								○														○
日常生活動作の訓練とレクリエーション				●	●									●	●							
レクリエーションのみ														●	●							

○：統計学的に有意に成功確率が高いもの ●：統計学的に有意に成功確率が低いもの
 —：検討に必要な数を満たしていないもの 1：基準カテゴリ

サービスと対象者の性質は、2つのアウトカム指標に共通な対象者の特性で考察すると、マシンによる筋力増強訓練では、脳卒中の既往がない、基本チェックリストの点数が低く加えて特定高齢者である、すなわち疾患の既往がなく身体機能の比較的高い対象で効果が高いと考えられる。マシンによらない筋力増強訓練では、脳卒中の既往がないことの対象者の特性が有意ではなくなり、代わって物忘れの点数が高いこと特性として挙げられた。従って、脳卒中の既往がなく認知機能低下が認められるものではマシンによる筋力増強訓練を、疾患の既往があっても認知機能低下が認められないものではマシンによらない筋力増強訓練を中心としたサービス提供が、より効果的ではないかと考えられた。持久性訓練については、2つのアウトカム指標で共通な項目はなかった。日常生活動作に関する訓練では、認知症の既往がないこと、基本チェックリストの合計点が高いこと、認知的活動の点数が高いこと、特定高齢者であることなど、効果を及ぼす対象者の特性が多いことがわかった。レクリエーション・ゲームは日常生活動作に関する訓練とほぼ同じであるが、認知症の既往がないことが特性となっていないことから、認知機能の低下があるものでは、レクリエーション・ゲームが適当ではないかと考えられた。

表Ⅲ－38 実施内容別対象者要因要約表（全数）

		脳卒中の 既往が 無いこと	認知症の 既往が 無いこと	転倒・ 骨折の 既往が 無いこと	衰弱の 既往が 無いこと	基本 チェック リストの 合計点が 低いこと	落ち込み やすさの 点数が 低いこと	物忘れ 検査の 点数が 高いこと	認知的 活動の 点数が 高いこと	前期 高齢者で あること	特定 高齢者で あること
マシンによる筋力増強訓練	要介護認定等	○	○			○		○	○		○
	基本チェックリスト	○			○	○					○
マシンによらない筋力増強訓練	要介護認定等		○			○		○			○
	基本チェックリスト					○	○	○	○	○	○
持久性訓練	要介護認定等			○							
	基本チェックリスト					○					○
日常生活動作に関する訓練	要介護認定等	○	○					○	○		○
	基本チェックリスト		○			○	○		○		○
レクリエーション・ゲーム	要介護認定等		○			○		○	○		○
	基本チェックリスト					○	○		○		○

これらを総合すると、運動器の機能向上サービスは、1時間から2時間程度の実施時間で、筋力増強訓練を中心に持久性訓練や日常生活動作に関する訓練などを組み合わせて実施することがより効果を高めるのではないかと考えられた。また、対象者は、身体機能が比較的高く認知機能低下のないものではマシンを使わない筋力増強訓練を、認知機能低下のあるものではマシンを使った筋力増強訓練を中心に実施すると良いのではないかと考えられた。